

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	ごみ収集事業(東部クリーンセンター)	所管	環境クリーン部 東部クリーンセンター 収集事務所
			TEL 2946-5353

事業の目的 (何の為に 行うか)	快適な市民環境の維持・向上のため、効率的な収集を行う。
------------------------	-----------------------------

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	市内全域の生活ごみ収集量	対象とした数	76,351	t
		実際に 利用した数	25,146	t

活動の内容	(何を したか)	東部管内のごみ集積所(4,168箇所 平成20年3月末)を、区域を定め市及び委託業者により、下記分別で収集する。 ○燃やせるごみ(週2回) プラスチック(週1回) ペットボトル(月2回) 燃やせないごみ・有害ごみ(月2回) びん・かん・スプレー缶(月2回) 新聞・雑誌・ダンボール(月1回) 粗大ごみ(申込みにより市が収集・有料) ○排出されたごみが不分別 収集日以外の排出をなくすため市民の方へ協力依頼及び分別指導をしていく。							
活動実績	項目名	ごみ収集量	25146	項目名	収集経費	786251	項目名		単位
			t			千円			

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	75,049	66,671	786,251	2,318.9

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	1t当たりの収集コスト	収集経費÷年間ごみ収集量	29397	31267	94.0
			単位 円	単位 円	単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕							
		終了 ⇒ 事業完了 終了 休止							
	予算	* 現状どおり 増額 減額 終了							

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了								
	総合 評価	拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕 終了							
	予算	現状どおり 増額 減額 終了							

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当 部課	部課コード	050800	TEL	2946-5353
事業コード	ごみ収集事業(東部クリーンセンター)					
050801	環境クリーン部 東部クリーンセンター収集事務所					
開始年度		昭和 26 年度	—	終了年度	平成	年度

②事業の概要	事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加			根拠法令				
	分野別計画・指針	所沢市一般廃棄物処理基本計画			廃棄物の処理及び清掃に関する法律				
	関連・類似事業	西部クリーンセンター							
	総合計画の体系	政策	第1章 緑豊かな ゆとり・うるおいのあるまち	施策	4節 廃棄物・リサイクル	中柱	2 適正処理の拡充	小柱	(3) 収集体制の整備
	行政改革大綱における行動計画への位置づけ	・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 4 位			・実施計画における位置づけ… H19 *** H20 ○				
事業開始の背景	昭和25年11月に市制を施行し、翌26年10月から市民の生活環境の向上を図るため、近隣市町村では初めて自動車を導入して、市営のごみ収集・運搬事業を開始した。								

③事業の内容	目的(何のために行うか、具体的に) 快適な市民環境の維持・向上のため、効率的な収集を行う。									
	対象(誰を、何を対象としているのか) 市内全域の生活ごみ収集量					利用数の考え方 区域内からの収集量				
	対象数	単位	平成 18 年度	78,592	t	利用数	単位	平成 18 年度	25,911	t
			平成 19 年度	76,351	t			平成 19 年度	25,146	t
	事業の具体的な内容及び実施方法 東部管内のごみ集積所(4,168箇所 平成20年3月末)を、区域を定め市及び委託業者により、下記別で収集する。 ○燃やせるごみ(週2回) プラスチック(週1回) ペットボトル(月2回) 燃やせないごみ・有害ごみ(月2回) ひん・かん・スプレー缶(月2回) 新聞・雑誌・ダンボール(月1回) 粗大ごみ(申込みにより市が収集・有料) ○排出されたごみが不分別 収集日以外の排出をなくすため市民の方へ協力依頼及び分別指導をしていく。									

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性) << 最終評価 <input type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 >>									
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ())								
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了								
平成19年度中に改善した点 4月当初に分別されてないごみが多い集積所が24箇所あったが、改善をし集積所に維持管理の文書を貼付し16箇所へ減らした。また、利用者宅にも戸別に文書を配布し指導をした。										

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	当初予算		65,707	75,049	81,125
	決算(見込み含む)		56,984	66,671	
	(嘱託職員)(臨時職員)	(人)	(3.00 人)	(人)	(3.00 人)
	正規職員人件費	76.60 人	704,720	76.60 人	719,580
	公債費				
	事業費合計		761,704	786,251	
	財源内訳	一般財源	761,704	786,251	81,125
		国・県支出金			
		受益者負担金			
	市債				
	その他				
	市民一人当たり(単位:円)	2,254.3	2,318.9		
	利用数一単位あたり(単位:円)	29,396.9	31,267.4		

※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。

⑥指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標	
	活動実績	ごみ収集量	年間ごみ収集量	t	25,911	25,146		
	収集経費	経費 事業費合計	千円	761,704	786,251			
	成果分析	1t当たりの収集コスト	収集経費÷年間ごみ収集量	円	目標値 29,497	29,397		
				%	実績 29,397	31,267	実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2	2

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価
	対象設定	事業の対象を見直す必要性 <input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし	実施主体	現在の実施主体 市 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 見直しの必要性
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合 <input type="checkbox"/> 統合する <input type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業がない <input checked="" type="checkbox"/> 統合等必要なし	受益と負担の関係	受益者負担の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 見直しの必要性 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	明らかとなった課題	不法投棄のごみが多いため対応に苦慮している。		
	平成20年度における目標設定	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)
	分別されてないごみ集積所16箇所の改善指導をする。	改善指導をし、8箇所へ減らす。	年度末まで	
平成21年度における事業の方向性				
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ())			
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了			
評価理由	本事業は、限りある資源の有効利用、循環型社会の確立を図るため、ごみ分別を積極的に実施しているところであるが、これは市民と行政が一体となることで効果が得られるものである。今後、ごみ分別の収集の徹底を住民に周知し、更なる資源の再利用を図っていきたい。			
評価日	平成20年5月9日	記入者職氏名	主幹 小山修一	

⑧二次評価	一次評価を受けて	平成21年度における事業の方向性				
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 終了				
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
	評価理由	評価日				
	次年度用事前評価	部内優先順位… 位	非常に高い	高い	やや低い	低い
見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
評価理由	市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
評価日	優先度評価 <input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業 <input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業 <input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業					

⑨個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 有り	計画コード	322	323
	施策の体系	3-2資源循環の促進	3-2リユース・リサイクルの推進		
		3-2資源循環の促進	3-2-3廃棄物の適正処理		
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード		
	基本目標				
	主要課題				
	施策の方向				